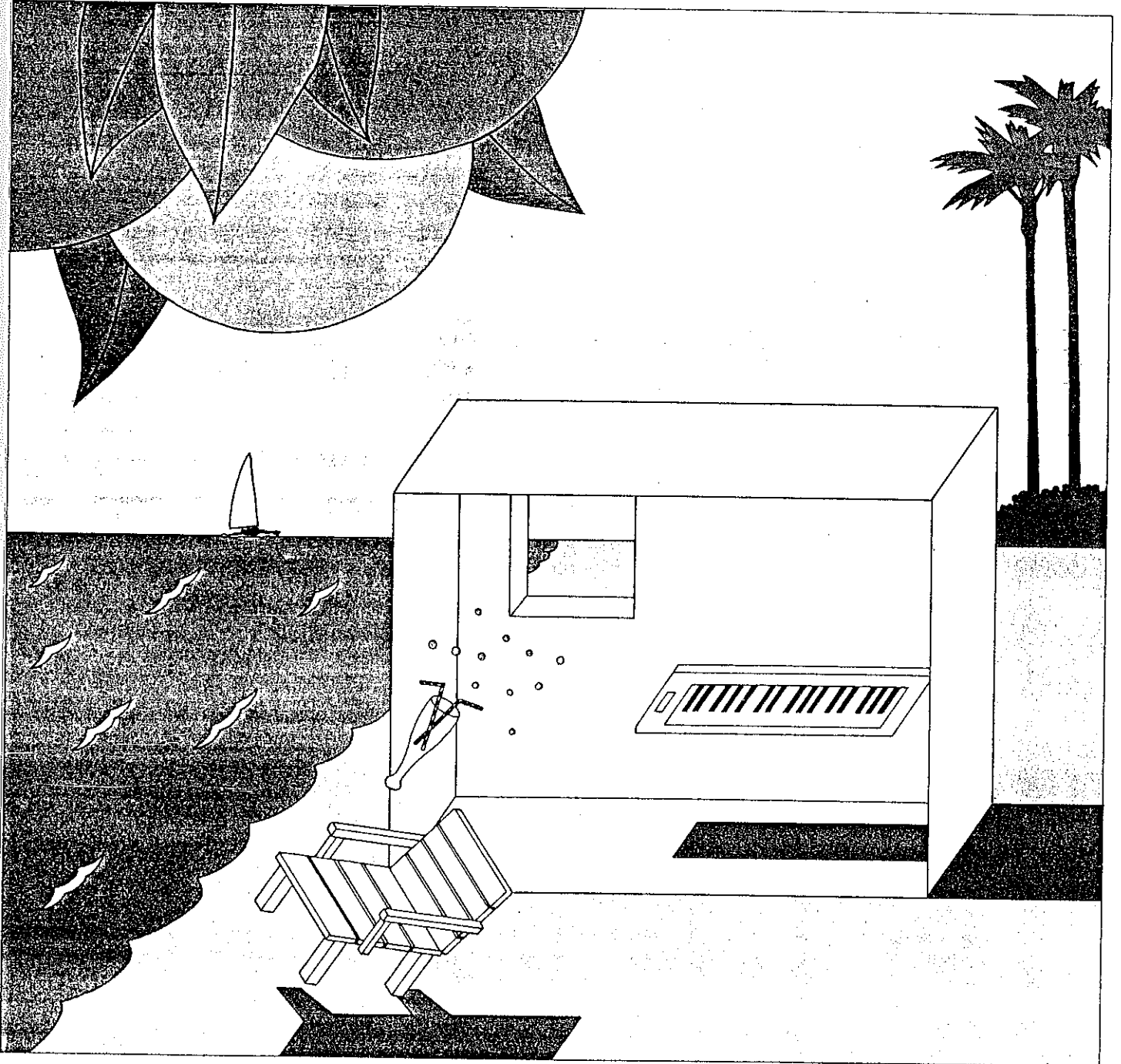


# PS-30

プレイング・ガイド



YAMAHA

このたびは、ヤマハポータートーンPS-30をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

ポータートーンは、新しい音楽の楽しみ方を見つける自由な鍵盤楽器。楽器づくりの経験豊かなヤマハが、最新の電子技術を駆使してつくりあげました。ピアノやストリングの楽器音からシンセサイザー感覚あふれる音まで、ワンタッチで選べる多彩な音色、指1本でも自動伴奏ができるオートベースコード、演奏をさらに華やかなものにするオートアルペジオなど、数多くの楽しさをぎっしりおさめたコンパクトボディ。いつでも、どこでも、どなたにも、気軽に演奏をお楽しみいただけます。

本書では、PS-30の魅力を充分ご活用いただけるよう、正しい取扱い方をご説明しています。実際に操作しながら、ぜひご一読ください。

● 弾く楽しさを自由に広げる	ページ
ポータートーンPS-30	1
● 各部の名称と基本的な使い方	2
● 電源は電池or ACコンセント	
—電池の入れ方と電源バックの使い方	4
● <オーケストラ音色>	
好きなサウンドを選んでフリープレイ	6
—プレイングノート	6
● <ソロ音色>	
アクセントをつけるソロパートにチャレンジ	7
● <アンサンブル>	
オーケストラをバックにソロプレイ	8
● <オートリズム>	
ドラムスを加えてリズムックプレイ	9
● <オートベースコード>	
伴奏はコードにベースを加えてオートプレイ	10
● <オートアルペジオ>	
さざ波のような自動アルペジオ伴奏	18
● レッツプレイ/ポータートーン	14
● 取扱い上の注意	19
● <外部端子>	
楽しさをさらに広げるために	20
● オプション(別売)	22
● 操作上の注意	23
● 仕様	24
● アフターサービスと保証	25

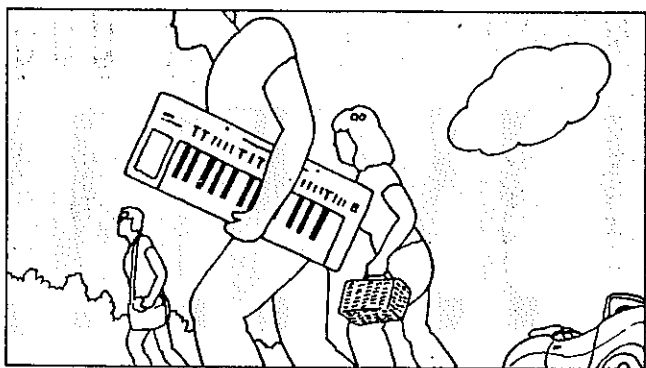
①  
PS-  
軽さ  
ター  
イブ  
ース  
が魅

②  
PS  
とつ  
す。  
のオ  
③  
サウ  
シン  
ギタ  
有  
さ  
厚

# 弾く楽しさを自由に広げるPORTATONE PS-30

## ①ポータブル

PS-30は、弾く楽しさを満載して、わずか6kg(電池別)という軽さ。しかも電源は乾電池、AC電源、カーバッテリー(アダプター別売)、どれでもOK。インドアで楽しめるのはもちろん、ドライブに、キャンプに、パーティーに、ファッショナブルなソフトケースにおさめてどこへでも気軽に持っているポータビリティが魅力です。



## ②ビューティフルトーン

PS-30は、ワンタッチ操作でイメージ通りの音選び。しかもひとつひとつの音色は、最新の電子技術を結集した美しい響きです。ピアノ、ストリング、オルガン、アコーディオンなど、10種類のオーケストラ音色では、和音演奏も楽しめます。

## ③ソロ音色&アンサンブル

サウンドに楽しさをさらに加えるのが、8つのソロ音色。先進のシンセサイザー技術を取り入れ、トロンボーン、トランペット、ギターなど、リアルな楽器音をそなえました。シンセサイザー特有のファンタスティックなファニー音色は、現代的な曲にもピッタリ。さらに、このソロ音色をオーケストラ音色と同時に使えば、より厚みのある音でアンサンブル演奏が楽しめます。

## ④イージー&ワンダフルプレイ

PS-30は、全く鍵盤経験のない方から、ハイグレードな演奏者まで、どなたにも気軽に華やかなプレイを楽しんでいただけます。その秘密は、オートリズム、オートベースコード、オートアルペジオという3つのファンブロック(お楽しみ機能)。

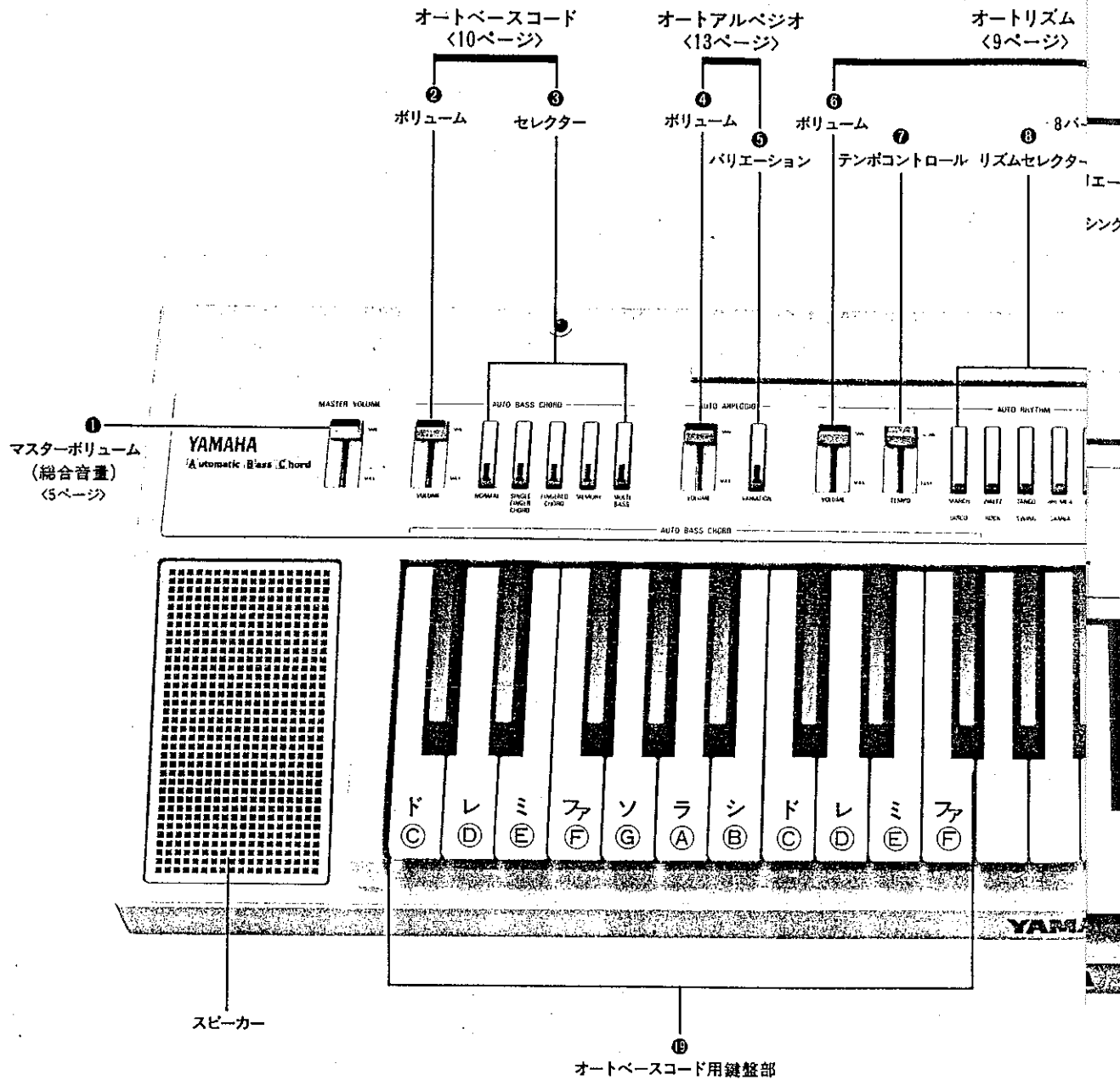
オートリズムは、いわばリズムボックス。シンバルやスネアドラムなどの打楽器音で、軽快なリズムを自動的にきざみます。

オートベースコードは、コード(和音)とベース音による自動伴奏。“弾くのは苦手”という方は、指1本で鍵盤をおさえるだけのシングルフィンガーコード、和音によるコード伴奏に慣れた方なら、フィンガードコードを使って、すばらしい自動伴奏をお楽しみください。さらにマルチベースを加えれば、ベースパターンが変化して楽しさは倍増。

オートアルペジオは、プレイを華やかに演出する自動伴奏。演奏のバックに流れるさざ波のような効果音として使うこともできます。

初心者からハイグレードな演奏者まで、それぞれに楽しめる3つのファンブロック。これらをいっしょに使うこともできるPS-30は、弾く楽しさを大きく広げます。





## 各部の名称と基本的な使い方

### ① マスターボリューム(総合音量)

全体の音量を調節するレバーです。

### ② オートベースコードボリューム

オートベースコードの音量を調節するレバーです。

### ③ オートベースコードセレクター

自動伴奏の使い方を決めるボタンです。

ノーマル：弾いた通りの音で伴奏をつけます。いいかえれば、自動伴奏のキャンセルボタンです。

シングルフィンガーコード：オートベースコード用鍵盤をひとつおさえるだけで、その音をもとにした和音(メジャーコード)とベース音の伴奏が、リズムにのっ

て自動的に出てきます。

フィンガードコード：オートベースコード用鍵盤部で和音をおさえると、その和音をもとにベース音を加えた伴奏が、リズムにのって自動的に出てきます。メモリー：自動伴奏を記憶するボタンで、これを押しておくで鍵盤から指を離しても同じ伴奏がくり返されます。

マルチベース：シングルフィンガーコード、フィンガードコードを使った自動伴奏のベースパターンを変化させます。

### ④ オートアルペジオボリューム

オートアルペジオの音量を調節するレバーで、オート

アルペジオが不要なときはMINにセットしておきます。

### ⑤ オートアルペジオバリエーション

オートアルペジオのパターンを変化させるボタンです。

### ⑥ オートリズムボリューム

リズム音の音量を調節するレバーです。

### ⑦ テンポコントロール

リズムの速さを調節するレバーです。

### ⑧ リズムセレクター

リズムの種類を選ぶボタンです。上下2段に表示されたリズムは、右端の上下セレクターで選択します。

リズム

8バ  
ンク

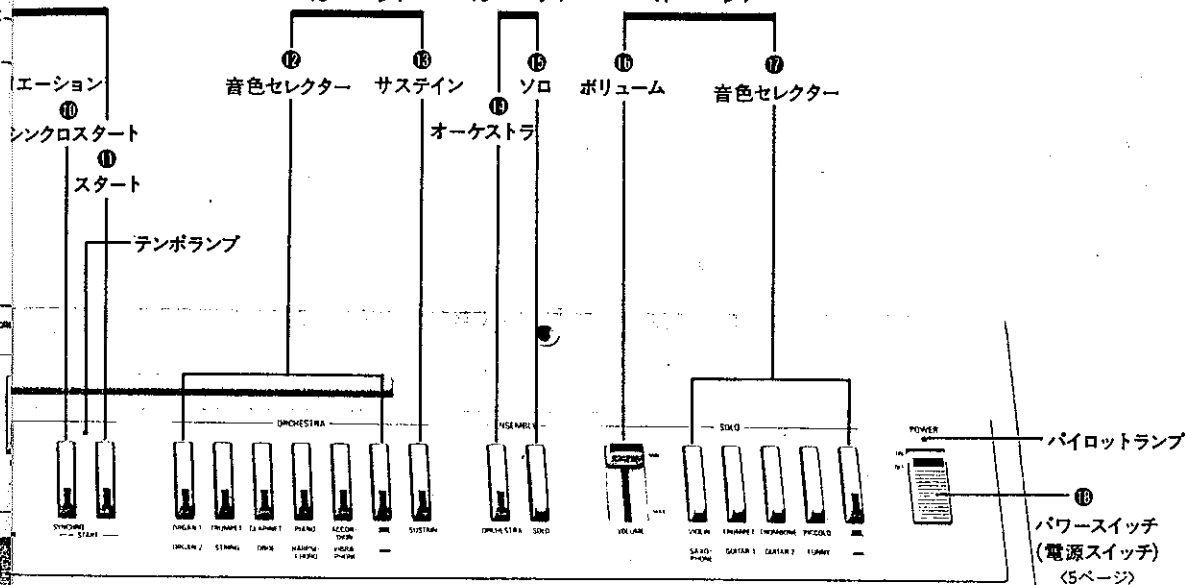
リズム

リズム

リズム

### オーケストラ音色 アンサンブル <5ページ> <8ページ>

### ソロ音色 <7ページ>



#### ⑧ 8バリエーション

リズムセクターで選んだ各リズムの8小節目に、リズムパターンを変化させます。

#### ⑩ シンクロスタート

オートベースコード用鍵盤部を押すと同時に、リズムを第1拍目からスタートさせます。

#### ⑪ スタート

このボタンを押すと同時に、選んだリズムが第1拍目からスタートします。

#### ⑫ オーケストラ音色セクター

主にメロディーを弾く音色を選ぶボタンで、上下2段に表示された音色は、右端の上下セクターで選

択します。

#### ⑬ サステイン

オーケストラ音色に自然な余韻をつけるボタンです。

#### ⑭ アンサンブル(オーケストラ)

オーケストラ音色とソロ音色のアンサンブルで演奏するときに押します。

#### ⑮ アンサンブル(ソロ)

ソロ音色だけで演奏するとき、またオーケストラ音色とアンサンブルするときに押すソロ音色のスイッチです。

#### ⑯ ソロ音色ボリューム

ソロ音色の音量を調節するレバーです。

#### ⑰ ソロ音色セクター

ソロパートを演奏する音色を選ぶボタンです。上下2段に表示された音色は右端の上下セクターで選択します。

#### ⑱ パワースイッチ

パイロットランプが点灯すれば、電気が通じています。

#### ⑲ オートベースコード用鍵盤部

オートベースコードを使って自動伴奏をするとき、伴奏を受けもつ鍵盤です。

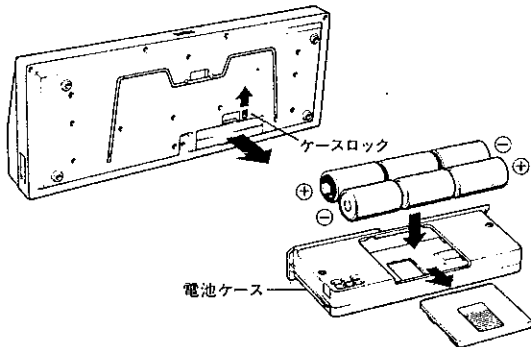
# 電源は電池 or ACコンセント

—電池の入れ方と電源パックの使い方—

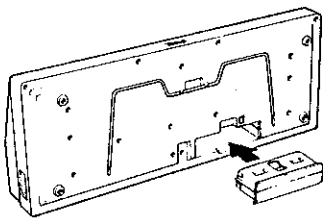
PS-30は、乾電池とAC電源どちらでもお使いいただけます。演奏する場所や用途に応じて使いわけてください。(カーバッテリー電源でもお使いいただけます。接続方法などは21ページを参照してください。)

## 〔電池の入れ方〕

まず、本体を横にして電池ケースの右上にあるケースロックを矢印の方向に押しながら、電池ケースをひきだしてください。電池ケースの蓋をスライドさせてははずし、単1乾電池6個を入れます。⊕⊖の向きをまちがえないように注意してください。



電池を入れたら、電池ケースの蓋をしめ、本体におさめます。ロックされるまで、しっかりとさしこんでください。

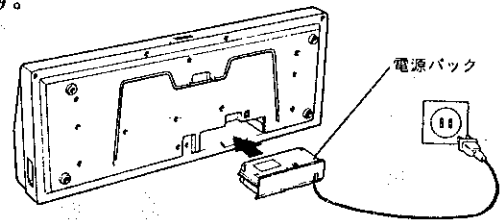


★パイロットランプが点滅しはじめたら、新しい電池をご用意ください。

★長くご使用にならないときは、液もれなどによる故障をさけるためにも、電池ははずしておきましょう。

## 〔電源パックの使い方〕

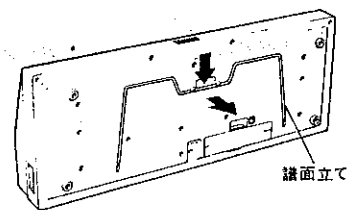
電池ケースのかわりに、電源パックを図のようにしっかりとロックされるまでさしこみ、プラグをコンセントにさしこんでください。電源パックと電池ケースは同じサイズですから、交換は簡単にできます。



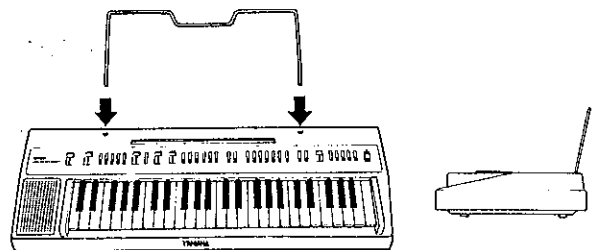
★電源パックをお使いにならないときは、必ずプラグをコンセントから抜いておいてください。

## ●譜面立ての立て方

本体を横にし、譜面立ての取りはずし口に指をかけ、矢印の方向に力を入れてはずしてください。

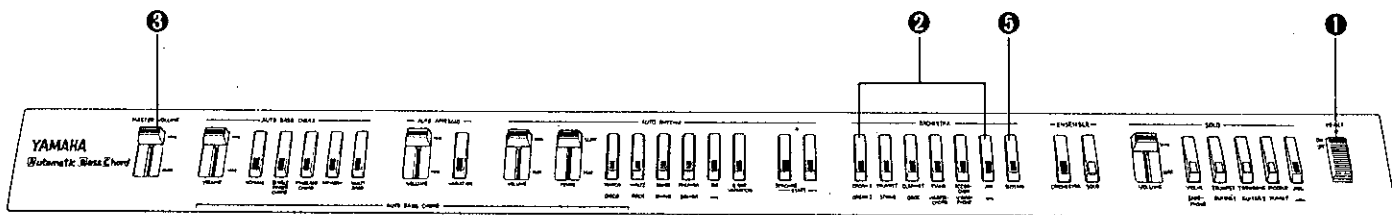


本体をもどし、コントロールパネルの上にある2つの穴に譜面立ての両端をさしこめばOK。



# 好きなサウンドを選んでブリープレイ

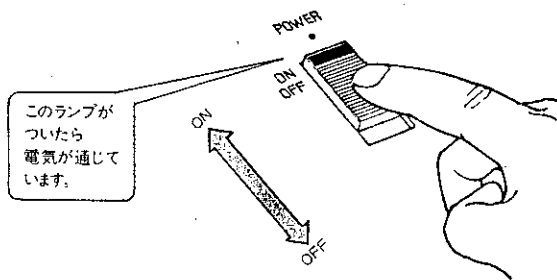
## オーケストラ音色



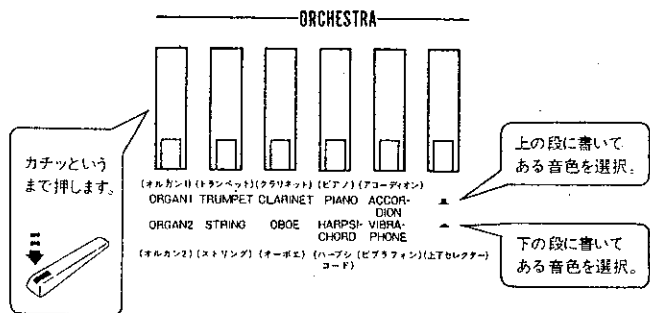
オーケストラ音色は、ボタンをひとつ押すだけで好きな楽器音を選べます。また、10音まで(オートベースコードを使っていないとき)の和音演奏もできます。

★電池ケースに電池が正しくおさまられていること、あるいは、電源バックが正しくおさまられていること、プラグがコンセントにさしこまれていることを確認してください。

### ① パワースイッチ(POWER)をON。



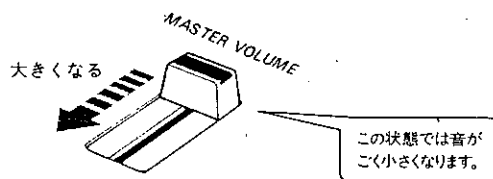
### ② オーケストラ音色セクター(ORCHESTRA)から、ひとつ選んでON。



それぞれのボタンの下には、2つの楽器名が書かれていますが、右端の上下セクター(赤いボタン)を押していないときは上段の音色に、押したときは下段の音色になります。(もう一度押すと上段の音色に戻ります)

★オーケストラ音色セクターを2つ以上同時に押した場合は、右側の音色が優先されます。また、音色セクターを押すと、前に選んだ音色は自動的にキャンセルされます。

### ③ マスターボリューム(MASTER VOLUME)で音量を調節。

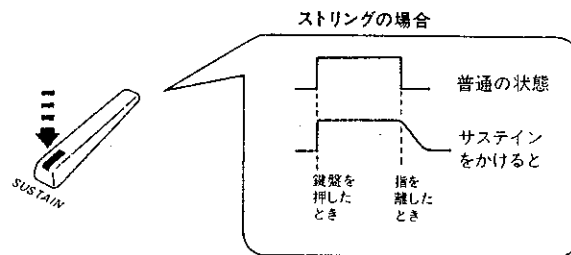


### ④ 鍵盤をおさえてみる。

選んだ音色が出てきたことと思います。ほかの音色に変えて、いろいろなメロディーを弾いてみましょう。

★オートベースコードのシングルフィンガーコード、またはフィンガーコードのボタンが押されていると、オートベースコード用鍵盤部では、選んだ音色は出なくなります。(10ページ参照)また、アンサンブルのソロボタンだけが押されているとオーケストラ音色は出ません。

### ⑤ サステイン(SUSTAIN)を押して、音に余韻を。

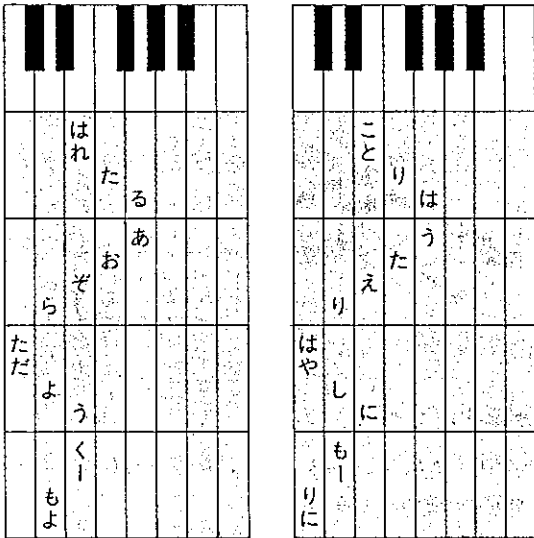


サステインとは、音にピアノのような自然な余韻をつける効果です。このボタンを押すと、オーケストラ音色に余韻がつき、鍵盤から指を離したあとも音が残って、自然に消えていく感じになります。

# プレイングノート — 楽しい演奏のために —

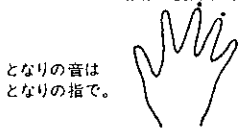
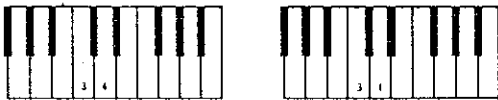
## ① こんなふうに鍵盤をおさえればOK。

まず弾いてみましょう。よく知っている曲ですから、音の長さはわかりますね。

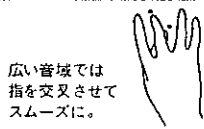


## ② 指づかいに工夫を。

PS-30の演奏には、むずかしい運指は必要ありませんが、スムーズに弾くためには、こんな指づかいを覚えておくと便利です。

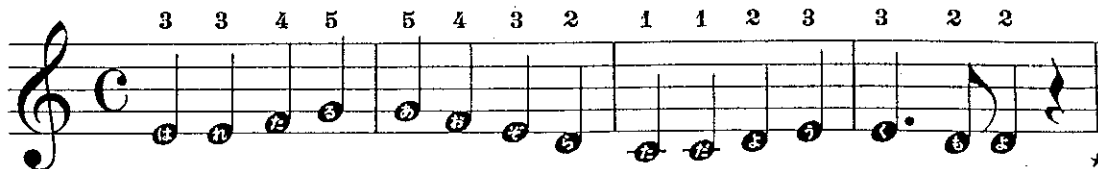


となりの音は  
となりの指で。



広い音域では  
指を交差させて  
スムーズに。

弾いてみましょう

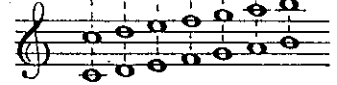


Freu-de schö-ner Göt-ter-fun-ken, Toch-ter aus E-ly-si-um,



## ③ 五線譜の読み方は。

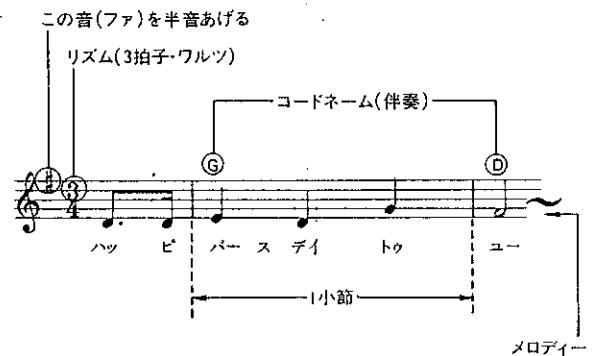
はじめに、鍵盤と五線譜の関係を示してみると...



次によく使われる記号を覚えましょう。

音符の種類と名称	4分音符と比較した長さ	休符の種類と名称	4分休符と比較した長さ
全音符	4つ分のぼす	全休符	4つ分休む
付点2分音符	3つ分のぼす	付点2分休符	3つ分休む
2分音符	2つ分のぼす	2分休符	2つ分休む
4分音符		4分休符	
8分音符	2つ(4分音符)のぼす	7分(8分音符)の休む	

では、実際に五線譜を見てください。これだけ知っていれば、いつでも弾けます。

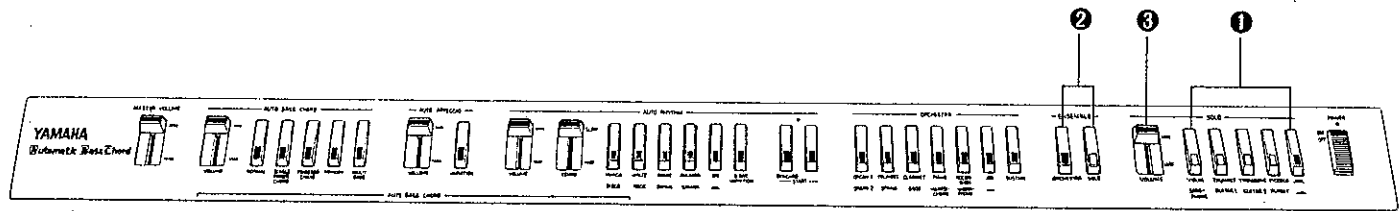


★楽譜の上についてある番号は、指づかいの例です。



# アクセントをつけるソロパートにチャレンジ

## ソロ音色



ソロ音色は、その名の通り、ソロパートを演奏する音色です。シンセサイザー技術を取り入れることにより音量、音色が時間的に変化するリアルな楽器音が楽しめます。ここではまず、ソロ音色だけを使って演奏してみましょう。

**①ソロ音色セレクター(SOLO)から、ひとつ選んでON。**

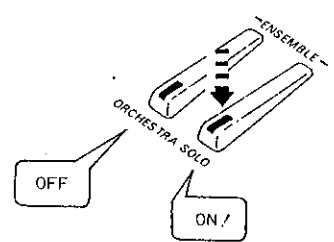
カチッというまで押します。

上の段に書いてある音色を選択。

下の段に書いてある音色を選択。

オーケストラ音色セレクターと同じように、それぞれのボタンの下に2つの楽器名が書かれていますから、上下セレクターでどちらかを選んでください。

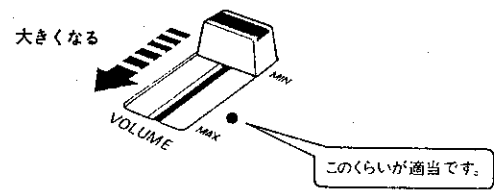
**②アンサンブル(ENSEMBLE)のソロ(SOLO)をON。**



弾いてみましょう

- ★アンサンブルのボタンは、ソロ音色のみで演奏するとき、または、オーケストラ音色にソロ音色を加えて演奏するときに使います。ソロ音色のみで演奏したいときは、ソロのボタンだけを押し、オーケストラのボタンはOFFにしてください。(8ページ参照)
- ★アンサンブルのボタンが2つともOFFになっているときは、オーケストラ音色が出ます。

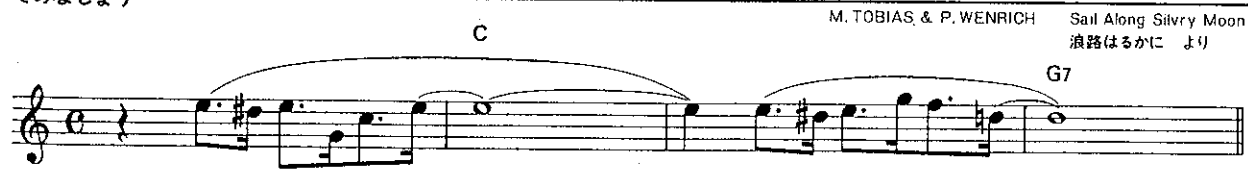
**③ソロ音色ボリュームで音量を調節。**



**④ソロ音色でメロディーを。**

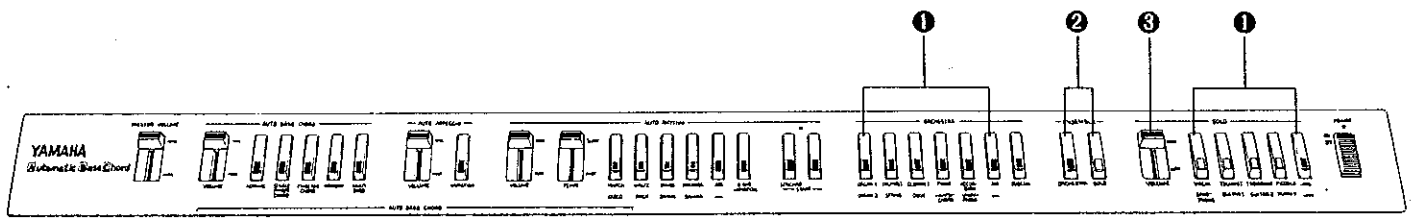
鍵盤をおさえてください。選んだ音色が出てきたことと思います。音色を変えて、いろいろなメロディーを弾いてみましょう。

★ソロ音色は単音で音が出ます。2つ以上同時に鍵盤をおさえた場合は、高音が優先されます。



# オーケストラをバックにソロプレイ

## アンサンブル



次は、オーケストラ音色、ソロ音色の両方をアンサンブルさせてみましょう。

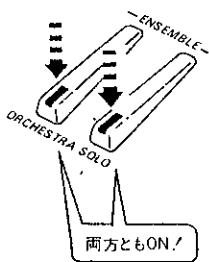
### ①オーケストラ音色、ソロ音色、それぞれひとつ選んでON。

オーケストラ音色セレクターと上下セレクター、およびソロ音色セレクターと上下セレクターで、それぞれの音色を選んでください。(5ページ、7ページ参照)

[音色の組み合わせ例]

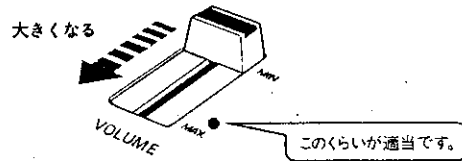
オーケストラ音色	ソロ音色
トランペット (TRUMPET)	トランペット (TRUMPET)
ピアノ (PIANO)	ピッコロ (PICCOLO)
ストリング (STRING)	トランペット (TRUMPET)
オルガン2 (ORGAN2)	ギター1 (GUITAR1)
ストリング (STRING)	バイオリン (VIOLIN)

### ②アンサンブル(ENSEMBLE)のオーケストラ(ORCHESTRA)とソロ(SOLO)を両方ともON。



★キャンセルしたいときは、ボタンをもう一度押してください。

### ③ソロ音色ボリュームで、音量のバランスを調節。



★マスターボリュームがMINになっていると音はごく小さくなります。

### ④アンサンブルでレッツプレイ。

鍵盤を2つ以上同時に弾いてみましょう。いちばん高い音だけにソロ音色が加わります。

例えばこんな和音演奏をしてみると……

オーケストラ音色…ストリングON  
ソロ音色……………バイオリンON



メロディー部にソロ音色が加わり、美しいアンサンブルの効果が得られます。

★ストリング+バイオリン、トランペット+トランペットのアンサンブルの場合、単音で長くのばす音を弾くと、うねりが生じます。これは、オーケストラ音色とソロ音色でビブラートの周期などが微妙に異なるためで、特に和音で弾いた場合、この「うねり」が美しい響きとなり、アンサンブル効果を高めます。

★ソロ音色は、本体裏側にあるピッチコントロール(SOLO TUNE)でアンサンブル効果を微妙にコントロールできます。小型マイナースライダーで調整してください。

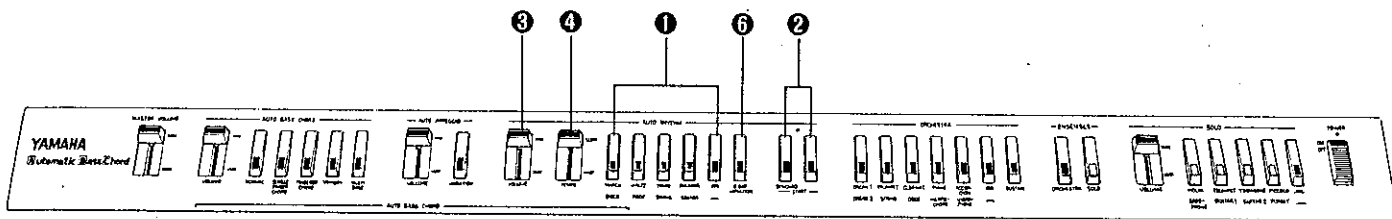
弾いてみましょう

C F Fm C G7 C

C. スコット Now Is The Hour  
ナウ・イズ・シアワー より

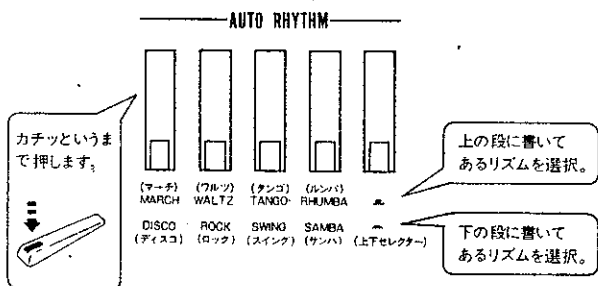
# ドラムスを加えてリズムミックプレイ

## オートリズム



オートリズムは、シンバル、スネアドラムなど、歯切れのよい打楽器音で軽快なリズムを自動的にきざみます。

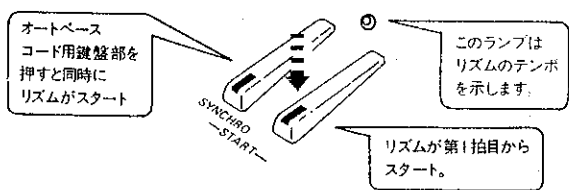
### ①リズムセクターをひとつON。



★リズムセクターは、音色セクターと同様に、右側の上下セクターで、上段、下段のリズムを選んでください。

★マーチ(MARCH)は2拍子、ワルツ(WALTZ)は3拍子、そのほかのリズムは4拍子です。

### ②スタート(START)をON。



2つのスタートボタンのうち、右側のボタンを押してください。選んだリズムが第1拍目から鳴りはじめます。

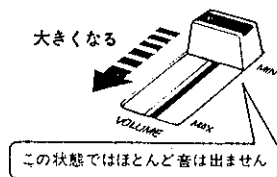
#### 〈シンクロ(SYNCHRO)スタート〉

右側のスタートボタンのかわりに、左側のシンクロのボタンを押すと、リズムはすぐに鳴りはじめず、鍵盤の低音部(オートベースコード用鍵盤部)を押すと同時に、第1拍目から鳴りはじめます。リズムとメロディーのタイミングをあわせるときなどには、便利です。

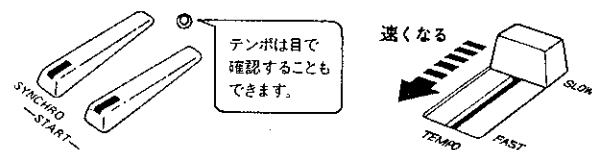
★リズムをとめるときは、押したスタートボタンをもう一度押してください。

★スタートとシンクロスタートを両方とも入れた場合は、スタートのボタンが優先します。

### ③オートリズムボリューム(VOLUME)で、リズムの音量を調節。



### ④テンポコントロール(TEMPO)でリズムの速さを調節。



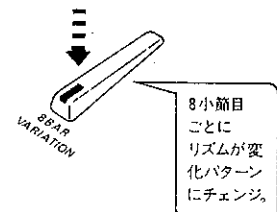
#### 〈テンポランプ〉

スタートボタンの上にある赤いランプの点滅は、リズムの速さを示します。リズムが鳴っているときはリズムの小節の第1拍目に、シンクロスタートを入れ、まだリズムをスタートさせていない間は、4分音符の単位で点滅します。

### ⑤リズムにあわせてメロディーを。

### ⑥8バーバリエーション(8BAR VARIATION)でリズムに変化を。

8バーバリエーションは、8小節目ごとにリズムを変化させるボタンで、選んだリズムの8小節目に、1小節目だけ変化パターン(バリエーション)が入ってきます。

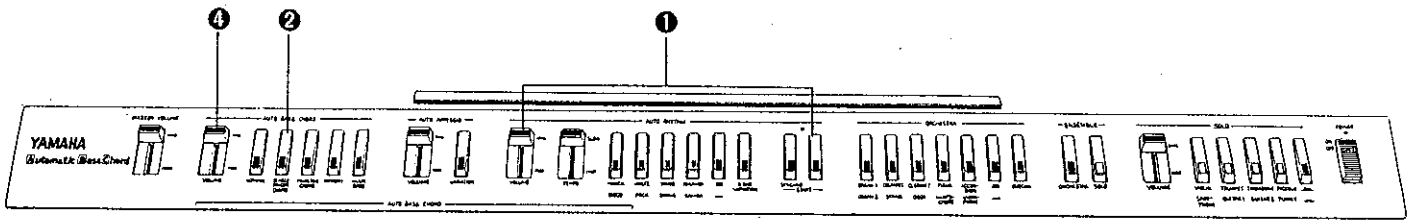


★バリエーションのパターンは、それぞれのリズムによって決まっています。

★8バーバリエーションのボタンを、リズムがスタートする前に押すと、最初から数えて8小節目に、また、曲の途中で、リズムの小節の前半に押した場合は、その小節から数えて8小節目に、小節の後半に押した場合は、次の小節から数えて8小節目にバリエーションが入ってきます。

# 伴奏はコードにベースを加えてオートプレイ

## オートベースコード

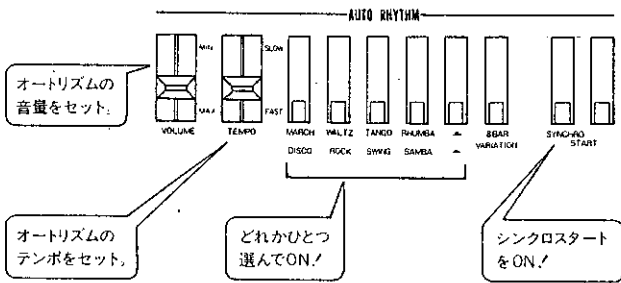


オートベースコード(AUTO BASS CHORD)は、和音とベース音による自動伴奏。PS-30では、次にあげる2種類の自動伴奏が楽しめます。

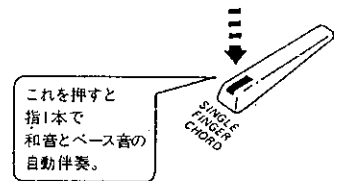
- **シングルフィンガーコード(SINGLE FINGER CHORD)**  
鍵盤をひとつおさえるだけで、3和音とベース音による自動伴奏ができます。鍵盤経験のない方や、コードによる伴奏づけに慣れていない方も、指1本で伴奏が楽しめます。
  - **フィンガードコード(FINGERED CHORD)**  
和音をおさえることで、和音とベース音の自動伴奏ができます。コードの伴奏づけに慣れている方には、シングルフィンガーコードより使いやすい自動伴奏です。
- ※ノーマル(NORMAL)のボタンを選ぶと、弾いた通りの音による伴奏になります。言いかえると、自動伴奏のキャンセルボタンです。

### 〈シングルフィンガーコード〉

#### ①オートリズムをセット。(9ページ参照)

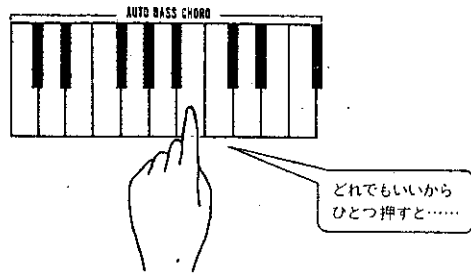


#### ②シングルフィンガーコードのボタンをON。

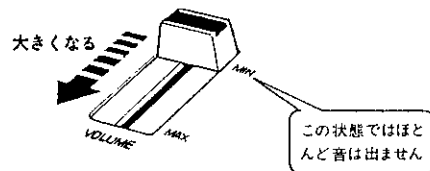


#### ③オートベースコード用鍵盤をどれかひとつおさえる。

オートベースコード用鍵盤(「AUTO BASS CHORD」19鍵)を、どれかひとつおさえてみましょう。和音とベース音がリズムにのって出てきます。

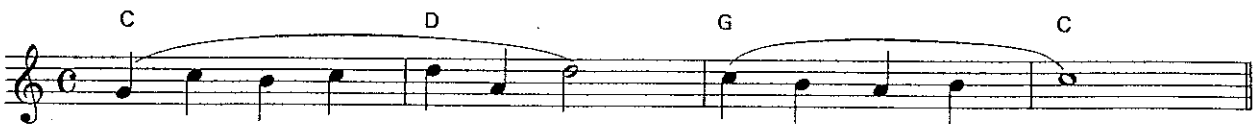


#### ④オートベースコードボリュームで自動伴奏の音量を調節。

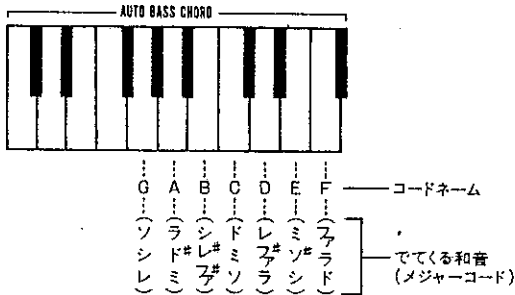


弾いてみましょう

ラブ・ミー・テンダー より

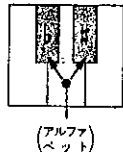


⑤ シングルフィンガーコードを使った伴奏で曲を弾いてみましょう。

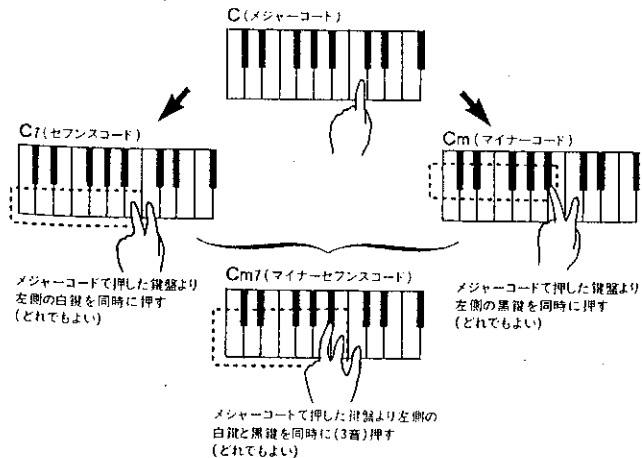


上の図は、オートベースコード用鍵盤をおさえる位置と、でてくる和音の関係を示したものです。では、自動伴奏をつけて、10ページの曲を弾いてみましょう。

● #、bのついているコードの出し方  
コードネームの中には、(B $\flat$ )のように#(シャープ)やb(フラット)のついているものがあります。その場合、#がついたら前ページで説明した位置の右上の黒鍵を、bがついたら左上の黒鍵をおさえてください。

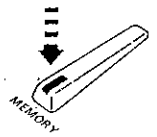


●セブンスコード、マイナーコードの出し方  
伴奏はメジャーコードだけに限らず、例えば[G $\flat$ 7]のようなセブンスコード、[Am]のようなマイナーコードもよく使われます。これらのコードは、下図のように2つの鍵盤を同時におさえることで出すことができます。



●メモリー(MEMORY)を押せば、鍵盤から指をはなしても続く自動伴奏。

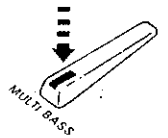
メモリーは、オートベースコードの伴奏を記憶させるボタンです。シングルフィンガーコード、フィンガードコードを使って伴奏しているとき、このボタンを押しておけば、鍵盤から指を離れたあとも同じ伴奏がくり返されます。ですから、コードを変えるときだけ、鍵盤を押しなおせばよいわけです。



★コードを変えるとき、指を離さずにレガートに(なめらかに)動かすと、コードが変わらないことがあります。メモリーを入れてコードチェンジを行なうときは、一度鍵盤から指を離すようにしてください。

●マルチベース(MULTI BASS)でベース音に変化をつけてみましょう。

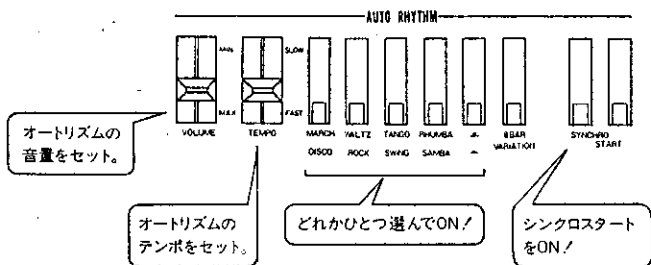
マルチベースは、オートベースコードによる自動伴奏のベースパターンを変化させるボタンです。シングルフィンガーコード、またはフィンガードコードと一緒に、このボタンを押しておけば、より高度なベースパターンが簡単に出来ます。なお、変化するパターンは、選んだリズムによって決まっています。



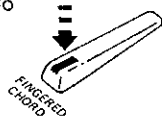
★オートリズムをセットせずにオートベースコードを使うと、和音とベース音の伴奏はリズムにのらない音(持続音)になります。曲によっては、この伴奏の方が効果的な場合があります。また、リズムに合わせづらいときも、持続音の伴奏で練習するとやさしくできます。  
★オートリズムとオートベースコードを同時に使ったとき、和音の伴奏の音色は、音色セクターで選んだ音色に関係なくピアノの音色になります。また、オートリズムを使わない持続音の伴奏の場合は、オルガンの音色になります。

## <フィンガードコード>

### ①オートリズムをセット。(9ページ参照)

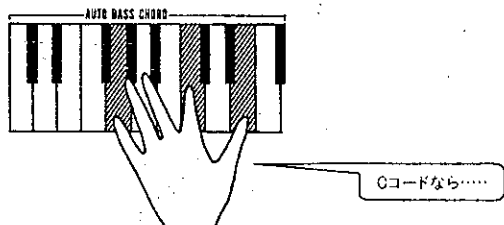


### ②フィンガードコードのボタンをON。

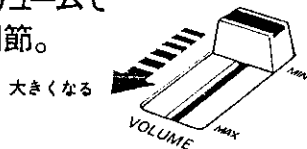


### ③オートベースコード用鍵盤で和音を。

オートベースコード用鍵盤で和音をおさえると、おさえた和音とベース音がリズムによって出てきます。



### ④オートベースコードボリュームで自動伴奏の音量を調節。



### ⑤フィンガードコードを使って伴奏を。

右のコードグラフを参考にして、下の曲を弾いてみましょう。

★曲に応じてメモリー、マルチベースも加えてください。

弾いてみましょう

## <コード表>

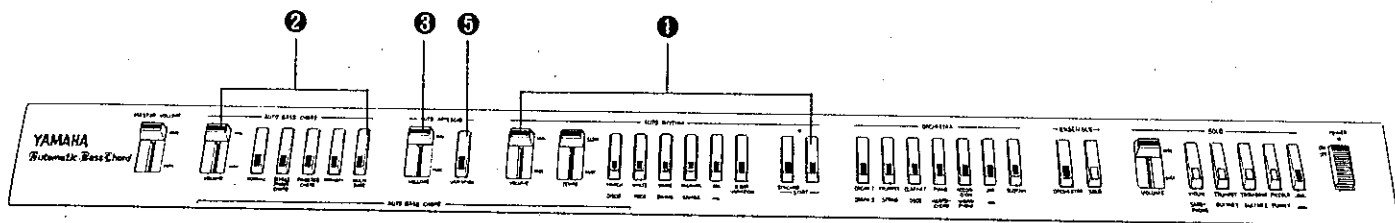
	メジャー・コード	セブンス・コード	マイナー・コード
C	C 	C7 	Cm 
D	D 	D7 	Dm 
E	E 	E7 	Em 
F	F 	F7 	Fm 
G	G 	G7 	Gm 
A	A 	A7 	Am 
B	B 	B7 	Bm 

P. シンガー Where Have All The Flower Gone  
花はどこへ行った より



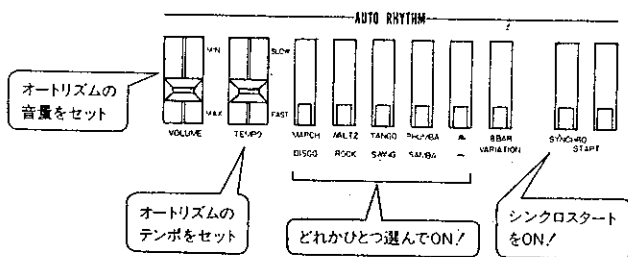
# さざ波のような自動アルペジオ伴奏

## オートアルペジオ

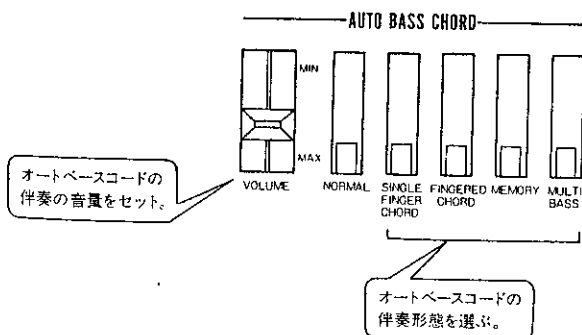


アルペジオとは、ハープやギターのように、音を連続して奏でる分散和音的な奏法のこと。オートアルペジオでは、このアルペジオが鍵盤をおさえつづけるだけで自動的に得られます。また、さざ波のような効果音としてバックに流せば、華やかな演奏が楽しめます。

### ①オートリズムをセット。(9ページ参照)

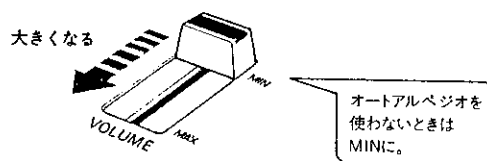


### ②オートベースコードをセット。(10~12ページ参照)



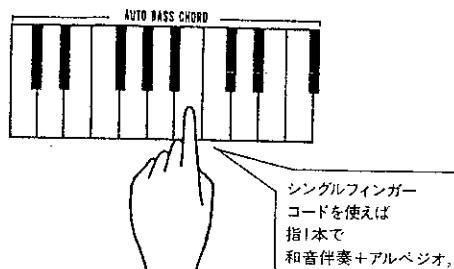
★オートアルペジオは、オートリズムと、オートベースコードのシングルフィンガーコードまたはフィンガードコードを必ずセットしてください。この場合、メモリーも使えます。

### ③オートアルペジオボリュームをセット。



★オートアルペジオが不要な場合は、オートアルペジオボリュームを最小(MIN)にしてください。

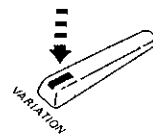
### ④オートベースコード用鍵盤をおさえる。



オートアルペジオが鳴りはじめたことと思います。それでは、オートアルペジオを使って、下の曲を弾いてみましょう。

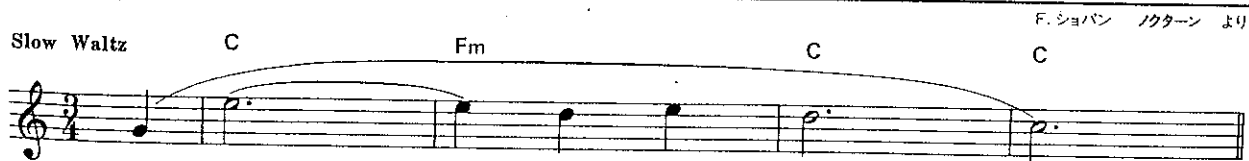
★アルペジオのパターンは、選んだリズムによって決まっています。

### ⑤バリエーション(VARIATION)で、アルペジオのパターンに変化を。



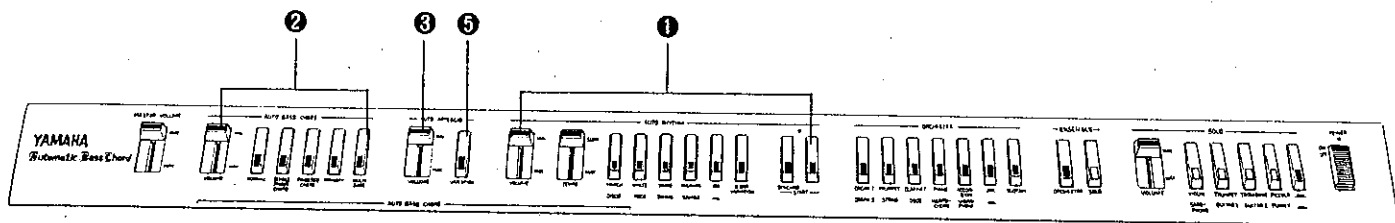
★変化するパターンは、選んだリズムによって決まっています。

弾いてみましょう



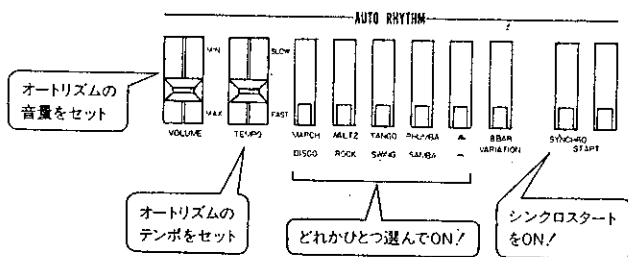
# さざ波のような自動アルペジオ伴奏

## オートアルペジオ

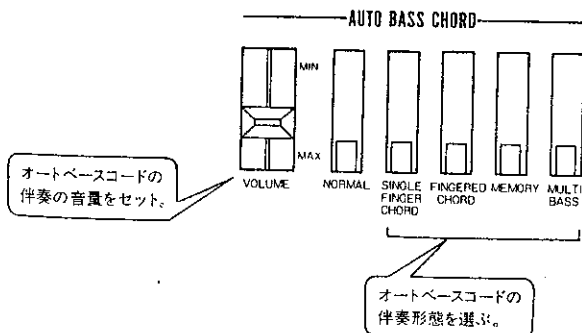


アルペジオとは、ハープやギターのように、音を連続して奏でる分散和音的な奏法のこと。オートアルペジオでは、このアルペジオが鍵盤をおさえつづけるだけで自動的に得られます。また、さざ波のような効果音としてバックに流せば、華やかな演奏が楽しめます。

### ①オートリズムをセット。(9ページ参照)

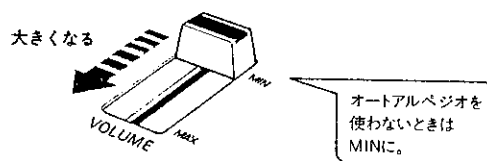


### ②オートベースコードをセット。(10~12ページ参照)



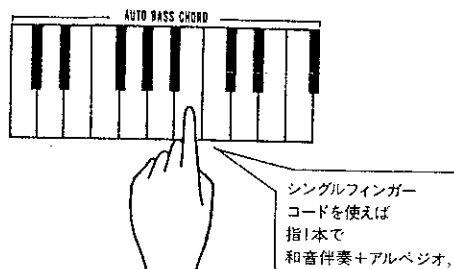
★オートアルペジオは、オートリズムと、オートベースコードのシングルフィンガーコードまたはフィンガードコードを必ずセットしてください。この場合、メモリーも使えます。

### ③オートアルペジオボリュームをセット。



★オートアルペジオが不要な場合は、オートアルペジオボリュームを最小(MIN)にしてください。

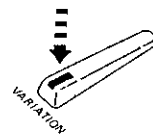
### ④オートベースコード用鍵盤をおさえる。



オートアルペジオが鳴りはじめたことと思います。それでは、オートアルペジオを使って、下の曲を弾いてみましょう。

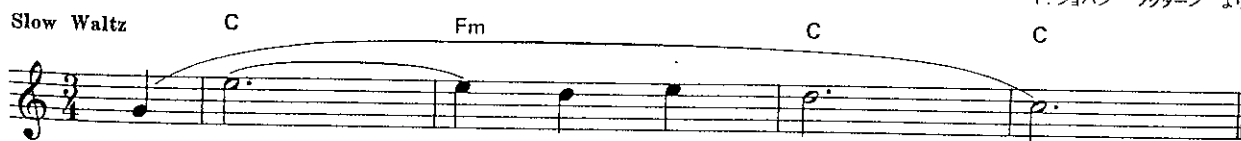
★アルペジオのパターンは、選んだリズムによって決まっています。

### ⑤バリエーション(VARIATION)で、アルペジオのパターンに変化を。



★変化するパターンは、選んだリズムによって決まっています。

弾いてみましょう



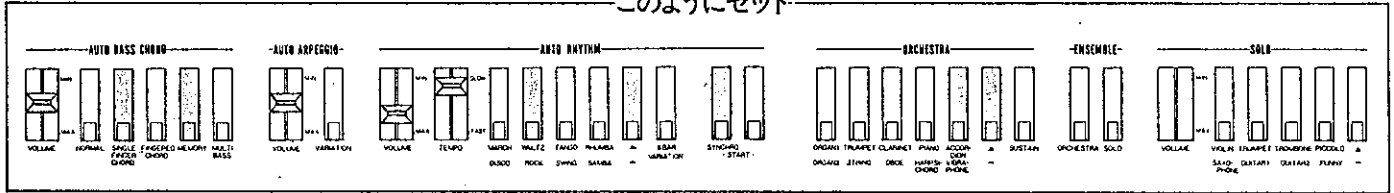


# レッツプレイ!ポータートーン

PORTATONE

オートベースコードは、すべてシングルフィンガーコードをセットしてありますが、フィンガードコードの方が弾きやすい方は、フィンガードコードにしてください。

このようにセット



## 四季のうた

荒木とよひさ 作詞・作曲

Medium Rock

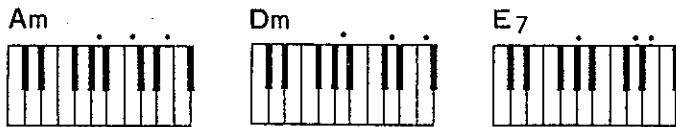
Am Dm Am

1. は る を あ い す る ひ と は こ こ ろ きつ よ き ひ と  
 2. な つ を あ あ い す る ひ と と は こ こ ろ ろ つ よ き ひ と  
 3. あ き を あ あ い す る ひ と と は こ こ ろ ろ か ふ き ひ と  
 4. ふ ゆ を あ あ い す る ひ と と は こ こ ろ ろ ひ かる き ひ と

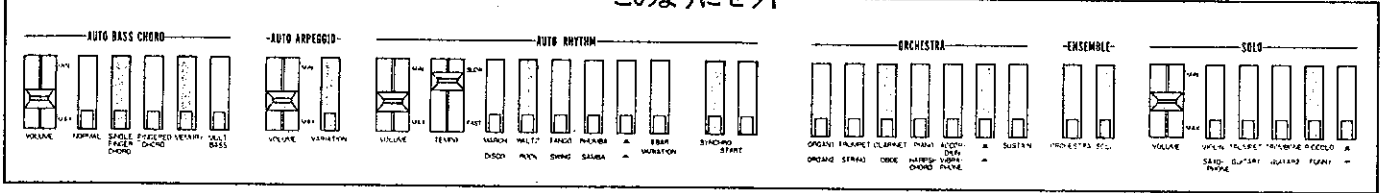
Dm Am E7 Am

す み れ の は な の よ な 一 ぼ く の と も だ ち  
 あ わ い を く だ く な よ の な な ぼ く の ち も ち お  
 ゆ き を か と か す だ い の の の は は お や

©1971 by IZUMI KIKAKU Co., Ltd. 日本音楽著作権協会(出)許諾 8108797号



このようにセット



# 知床旅情

森繁久彌 作詞・作曲

Slow Waltz

C F C C

し れ と こ の み さ き に は ま な

G C C

す の さ く こ ろ お も い だ し

F C C G

て お く れ お れ た ち の こ と

C G C

を の ん で さ わ い い で

F C C7 F C

お か に の ぼ れ ば は る か く な

C C G C

し り に び や く や は あ け る

このようにセット

# ライディーン

高橋ユキヒロ 作曲

Medium Fast

Chord progression: Dm Dm B $\flat$  A \* Dm

Chord progression: B $\flat$  Gm B $\flat$  A Dm

Chord progression: B $\flat$  B $\flat$  B $\flat$  A Gm Dm

Chord progression: Gm Dm 3-1 B $\flat$  B $\flat$  G

to  $\text{\textcircled{C}}$

Chord progression: C 1. C B $\flat$  A 2. C B $\flat$

Chord progression: A $\flat$  G B $\flat$

Chord progression: A $\flat$  G

① ENSEMBLE ORCHESTRA OFF

©1979 by KAY Music Publishing Ltd. 日本音楽著作権協会(出)許第8108797号

F.O.

♪F.O. (フェイド・アウト)

音をだんだん小さくして消えるように終わります。左手でマスタボリュームを奥にスライドさせていってください。

♪ 1 (リピート) と ※ D.S. (ダルセーニョ) ♠ (コーダ)

くり返して弾くように指示する記号です。右のような順序で弾いてください。

このようにセット

Medium Rock

# 思い出のグリーングラス

山上路夫 訳詞  
C. プットマン 作曲

G C G

きしから おりたら ちいさい えきで むかー

G D7

えてくれる ママと パパ ー てをふ

G G7 C

りながらよぶのは かれのすがたなのお

G D7 G

もいでの グリン グリン グラス オブ ホー ム てをふ

G G7 C

りながらよぶのは かれのすがたなのお

G D7 G

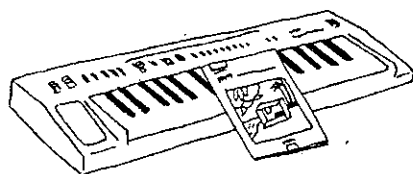
もいでの グリン グリン グラス オブ ホー ム ー

# 取扱い上の注意

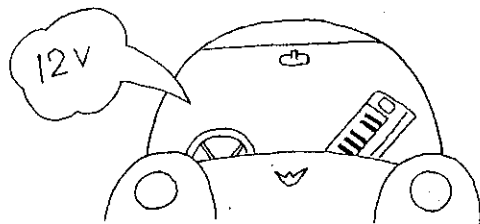
PORTATONE

PS-30を長くお楽しみいただくために、次の点にご注意ください。

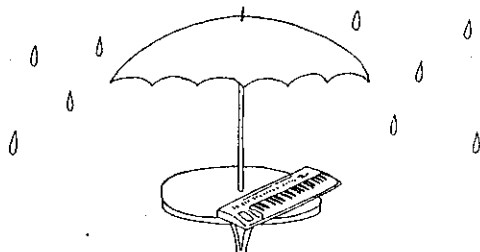
- ①電源は、乾電池、家庭用ACコンセント、カーバッテリーの3つを使用することができます。(カーバッテリーを使用する場合は専用のアダプターが必要です。)それぞれの接続方法などについては、説明書をよくお読みください。



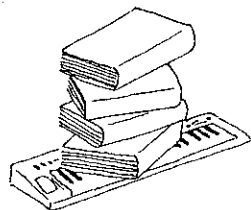
- ②カーアダプター(別売)は、12V マイナスアース車専用です。接続する前に、車のバッテリーが12Vのものであることを必ず確認してください。



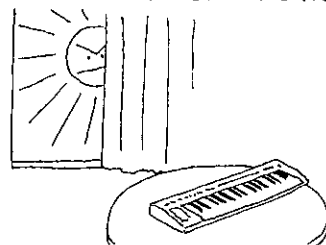
- ③特に湿気が多い場所に置くことはさけてください。



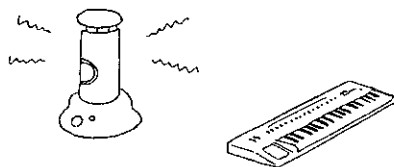
- ④過度な衝撃や無理な力を加えると、傷がついたり、故障の原因となることがあります。本体を落したり、上に座ったりしないように注意してください。



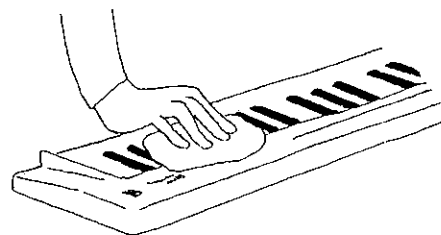
- ⑤強い直射日光に長時間さらすことはさけてください。



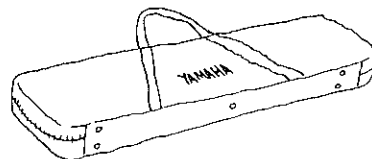
- ⑥暖房器具のそばに置いたり、日中、車内に長時間放置しておくことはさけてください。車の窓を閉めきっているとき、直射日光が当たっていると、車内の温度は80℃以上にもなります。極端に温度が高い場所(60℃以上)に置いておくと本体の外側や内部に悪影響を与え、故障の原因となることがあります。



- ⑦本体のお手入れは、乾いた柔らかい布でカラぶきしてください。よごれの目立つときは、少し水で湿らせた布でふいてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



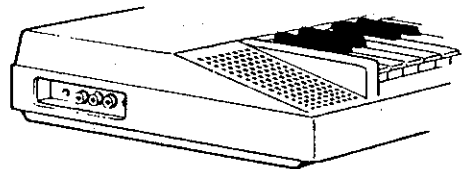
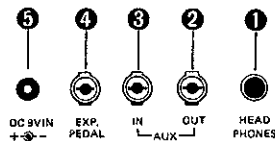
- ⑧ホコリや衝撃から守るため、ご使用にならないときは、ソフトケースに収めるようにしてください。



# 楽しさをさらに広げるために

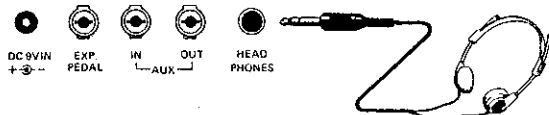
## 外部端子

PS-30の本体左側には、図のような外部端子がついています。これらを活用すれば、PS-30の楽しさはいっそう広がります。



### ① HEADPHONES端子

ヘッドホンを接続する端子で、ステレオ、モノラルどちらのタイプのヘッドホンでもご使用になれます。ヘッドホンを使うと、本体のスピーカーからは音が出ませんから、夜間でも周囲への迷惑を気にすることなく、心ゆくまで演奏をお楽しみいただけます。



オプション(別売)

#### ●ライトウエイトヘッドホン(YH-51)

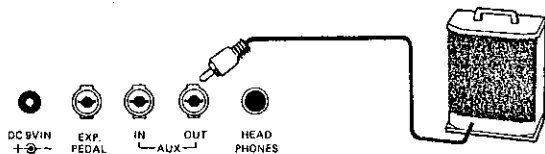


### ② AUX OUT端子

A. より豊かな音量で。

PS-30は、内蔵のスピーカーでも十分な音量でお楽しみいただけますが、パーティーや戸外での演奏など、より大きな音量が必要なときには、このAUX OUT端子を使って、トーンキャビネットやアンプなどに接続してください。迫力あるサウンドが楽しめます。

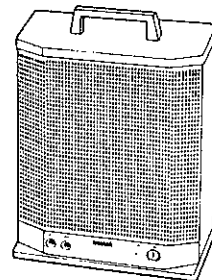
また、ステレオなどのスピーカーから音を出したいときにも、この端子を使います。ステレオなどのLINE INジャックに接続してください。



オプション(別売)

#### ●トーンボックス(TO-1)

(TO-1)は、3電源方式ですから戸外での演奏にも最適です。

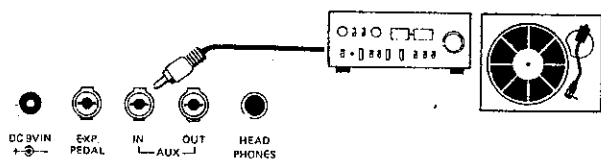


#### B. 演奏を録音

PS-30の演奏を録音したいときは、このAUX OUT端子を使って、テープデッキのLINE INジャックに接続してください。録音レベルは、テープデッキで調整できます。

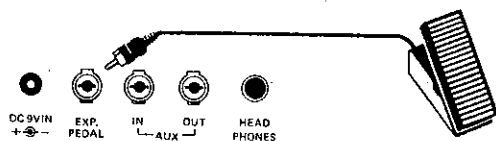
### ③ AUX IN端子

レコードやテープの音をPS-30本体のスピーカーから出したいときに使う端子です。レコードやテープの音量は、PS-30のマスターボリュームでは調節できませんから、ステレオやテープデッキの音量コントローラーをお使いください。



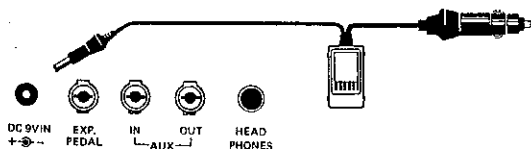
### ④ EXP. PEDAL端子

エクスプレッションペダルは、演奏中、足で自由に音量を調節することができるペダルです。このEXP. PEDAL端子に接続してお使いください。



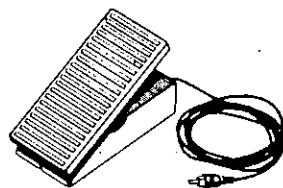
### ⑤ DC 9V IN端子

カーバッテリー(シガーライターソケット)から電源をとるときには、この端子を使います。専用のカーアダプターを接続してください。



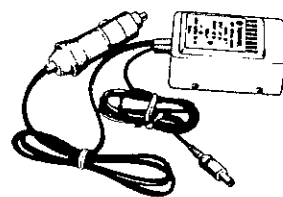
オプション(別売)

#### ●エクスプレッションペダル(EP-1)



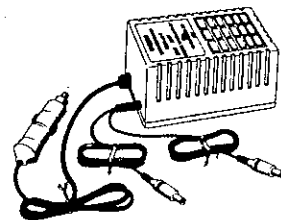
#### ●カーアダプター(CA-1)

車のシガーライターソケットから本体へ電源を供給します。このアダプターは、異常電圧から本体を保護するための回路を内蔵しています。



#### ●カーアダプター(CA-2)

接続コードが2つに分かれているタイプで、本体と同時にトーンボックスなどへの電源が取りだせます。



★PS-30には(CA-1)または(CA-2)をご使用ください。他のアダプターをご使用にならないようにお願いします。

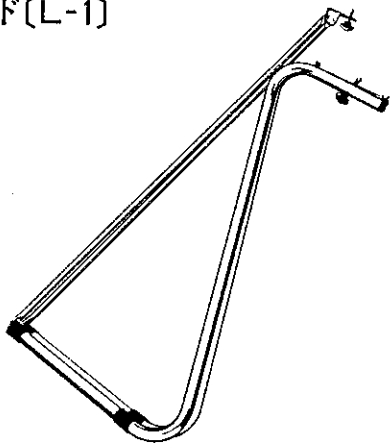


# オプション(別売)

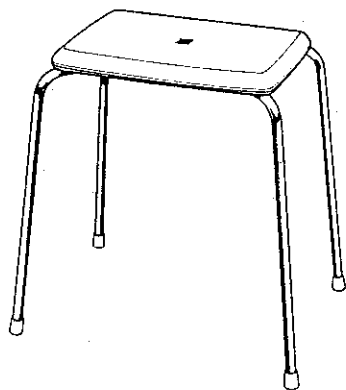
PORTATONE

PS-30には、外部端子の項でご紹介したほかにも、楽しさを広げるオプションがいろいろあります。

## ●スタンド[L-1]

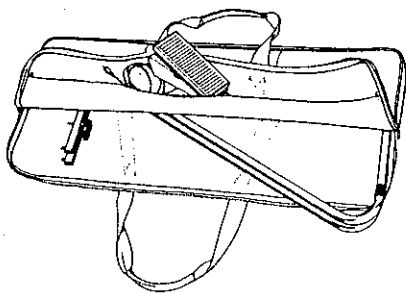


## ●イス[BC-2]



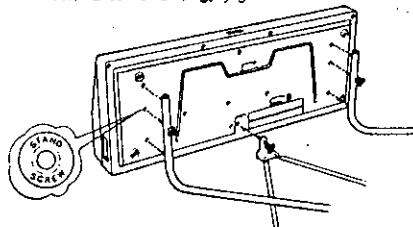
## ●スタンドケース[SC-1]

PS-30本体のソフトケースと同じデザインの布製スタンドケースです。スタンドのほか、エクスペッションペダルなどオプションが入るポケット付きです。

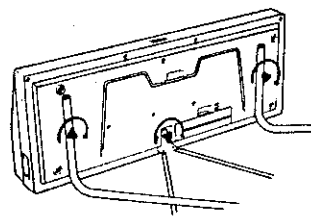


### 〈スタンドの取付け方〉

①まず、PS-30の裏側にあるスタンド取付け用の穴に、スタンドパイプの突部をはめこみます。



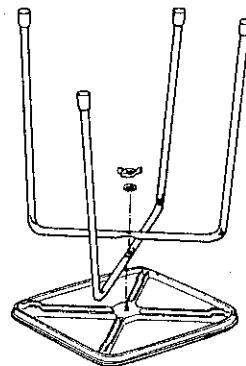
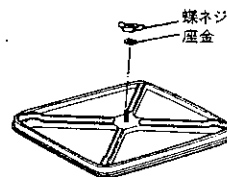
②付属の蝶ネジを、それぞれしっかりととめてください。



### 〈イスの組み立て方〉

①シートを裏返して、蝶ネジと座金はずしてください。

②2本の脚を図のようにシートのはめこみ(脚の組み合わせ方をまちがえないようにしてください)、座金をはめてから蝶ネジでしっかりととめます。



# 操作上の注意

現象	原因	解決法
オーケストラ音色が出ない。	①オーケストラ音色セレクターがどれも押されていない。 ②アンサンプルのソロボタンが押されている。	①5ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。 ②オーケストラ音色のみで演奏したいときは、アンサンプルのソロボタンをOFFにしてください。(ソロ音色と同時に出したときは、アンサンプルのオーケストラとソロの両方をON)
ソロ音色が出ない。	①ソロ音色セレクターがどれも押されていない。 ②アンサンプルのソロボタンが押されていない。	7ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。
オーケストラ音色、またはソロ音色セレクターで選んだ音色とは別の音色が出る。	①上下セレクターを操作していない。 ②アンサンプルのボタンを操作していない。 ③オートベースコードを使っているとき、オートベースコード用鍵盤部で弾いている。	①②5、7ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。 ③オートベースコードを使っている場合、オートベースコード用鍵盤部では、ピアノ(オートリズムONのとき)、または、オルガン(オートリズムOFFのとき)の音色が出ます。
オーケストラ音色は、鍵盤を同時に11音おさえても10音しか出ない。また、ソロ音色は、2音おさえても1音しか出ない。	オーケストラ音色は最高10音まで、ソロ音色は1音しか出ないようにになっています。(オートベースコードを使用していないとき)	オーケストラ音色は先におさえた鍵盤の音を、ソロ音色は高音を優先します。
オートリズムの音が出ない。	①リズムセレクターがどれも押されていない。 ②スタートボタンがどちらも押されていない。 ③シンクロスタートボタンを押して、オートベースコード用鍵盤部を押していない。 ④オートリズムボリュームが最小になっている。	9ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。
リズムセレクターで選んだリズムとは別のリズムが出る。	①上下セレクターを操作していない。 ②8パーバリエーションのボタンが押されている。	①9ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。 ②8パーバリエーションを使うと、リズムは8小節目ごとに変化パターンに切りかわります。
音色セレクター、またはリズムセレクターを2つ入れても、1種類しか出ない。	オーケストラ音色、ソロ音色、およびリズムは、それぞれ一度にひとつしか選べません。	同時に2つ以上入れた場合は右側が優先します。
オートベースコードの音が出ない。または、リズムにのらない。	①シングルフィンガーコード、フィンガードコードのボタンがどちらも押されていない。 ②オートベースコード用鍵盤をおさえていない。 ③オートベースコードボリュームが最小になっている。 ④オートリズムがセットされていない。	10-12ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
メモリーを使って、オートベースコードで伴奏しているとき、指を変えてもコードが変わらない。	オートベースコード用鍵盤をレガートに(なめらかに)弾いているため。	メモリーを使ったオートベースコード伴奏では、コードチェンジをするとき、一度指を離すようにしてください。
オートベースコードを使っているとき、オーケストラ音色は、鍵盤を同時に5音おさえても4音しか出ない。	オートベースコードを使っているとき、オーケストラ音色は、同時に4音までしか出ないようにしています。	先におさえた4音が優先します。
オートアルペジオの音が出ない。	①オートリズムまたはオートベースコードのシングルフィンガーコード、フィンガードコードのどちらかがセットされていない。 ②オートアルペジオボリュームが最小になっている。	13ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
パワースイッチを入れたとき、ポツンと音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
パイロットランプが点滅する。	①電池がなくなりかかっているため。 ②音量が大きいとき、一時的に電圧が下がるため。	①新しい電池をご用意ください。 ②ご心配いりません。
かすかに音もれる。	音色セレクターがどれも押されていないときに鍵盤をおさえると、かすかに音もれますが、故障ではありません。音色セレクターを押してお楽しみください。	

# 仕様

PORTATONE

## ■鍵盤数

49鍵(C1~C5)

## ■オーケストラ音色

### <音色セレクトター>

オルガン1—————オルガン2

トランペット—————ストリング

クラリネット—————オーボエ

ピアノ—————ハーブシコード

アコーディオン—————ビブラフォン

上下セレクトター

### <効果>

サステイン

## ■ソロ音色

### <音色セレクトター>

バイオリン—————サキソフォン

トランペット—————ギター1

トロンボーン—————ギター2

ピッコロ—————ファニー

上下セレクトター

### <コントロール>

ボリューム

## ■アンサンブル

ソロ

オーケストラ

## ■オートリズム

### <リズムセレクトター>

マーチ—————ディスコ

ワルツ—————ロック

タンゴ—————スイング

ルンバ—————サンバ

上下セレクトター

8バーバリエーション

### <コントロール>

スタート シンクロスタート

テンポ テンポランプ

ボリューム

## ■オートベースコード

### <オートベースコードセレクトター>

ノーマル

シングルフィンガーコード

フィンガードコード

メモリー

マルチベース

### <コントロール>

ボリューム

## ■オートアルペジオ

ボリューム

バリエーション

## ■その他

パワースイッチ パイロットランプ

マスターボリューム

ソロチューン

## ■外部端子

HEADPHONES

AUX OUT(600Ω)

AUX IN(30KΩ)

EXP. PEDAL

DC 9V IN

## ■メインアンプ

5W(R.M.S.)

(4Ωインピーダンス)

## ■スピーカー

12cm×8cm(4Ω)

## ■定格電圧

DC9V:単1乾電池6個

電源バック

カーアダプター

## ■消費電力

16W

## ■寸法・外装

(( ))内は譜面台を立てたとき

間口84cm、奥行29cm〔33cm〕、高さ

9cm〔25cm〕、重量5.9kg(電池別)、

ABS樹脂ポリウレタンフィニッシュ

## ■付属品

電池ケース 単1乾電池6個 電源

バック 譜面立て ソフトケース

# アフターサービスと保証

PORTATONE

## アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へ直接お申し付けください。

■本機の保証は、保証書によりご購入日から満1カ年です。尚、現金、ローン、月賦などによる保証の区別はいたしません。

■保証期間の1カ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記、お近くのヤマハのサービス網宛お問い合わせください。

### ■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

### ■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“操作上の注意”の項をいま一度お読みいただき、お確かめください。意外に故障ではない場合もあるものです。(ご依頼をお受けて点検いたしますと故障ではない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

### ■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少しくわしくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

## ヤマハのサービス網

全国のヤマハ特約楽器店と下記日本楽器支店が責任をもってアフターサービスを行っております。

### ●お問い合わせ先

本社 / 浜松市中沢町10-1・電音サービス課  
TEL(0534)65-1111

北海道支店 / 札幌市中央区南十条西1-4・電音サービス係  
TEL(011)512-6114

仙台支店 / 仙台市原町南目薬師堂北2-1・電音サービス係  
TEL(0222)95-6111

千葉支店 / 千葉市千葉港2-1千葉中央コミュニティセンター内・電音サービス係 TEL(0472)47-6611

関東支店 / 高崎市歌川町8番地高崎センター内・電音サービス係 TEL(0273)27-3322

東京支店 / 東京都中央区銀座7-11-3矢島ビル4F・電音サービス係 TEL(03)572-3341

横浜支店 / 横浜市中区本町6-61-1・電音サービス係  
TEL(045)212-2223

浜松支店 / 浜松市東伊場2丁目14-1・電音サービス係  
TEL(0534)56-9211

北陸支店 / 金沢市泉本町7-7・電音サービス係  
TEL(0762)43-5341

名古屋支店 / 名古屋市中区錦1-18-28・電音サービス係  
TEL(052)231-2432

大阪支店 / 大阪府吹田市新芦屋下1-16・電音サービス係  
TEL(06)877-5151

神戸支店 / 神戸市中央区浜辺通り6丁目1-36・電音サービス係  
TEL(078)232-1111

広島支店 / 広島市安佐南区祇園町西原2205-3・電音サービス係  
TEL(08287)4-3787

四国支店 / 高松市西宝町2丁目6-44・電音サービス係  
TEL(0878)33-2233

九州支店 / 福岡市博多区博多駅前2-11-4・電音サービス係  
TEL(092)472-2151

本社・工場／〒430 浜松市中沢町10-1  
TEL 0534(65)1111

東京支店／〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内  
TEL 03(572)3111

銀座店／〒104 東京都中央区銀座7-9-14  
TEL 03(572)3131

渋谷店／〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7  
TEL 03(476)5441

池袋店／〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2  
TEL 03(981)5271

横浜支店／〒231 横浜市中区本町6-61-1  
TEL 045(212)4852

千葉支店／〒280 千葉市千葉港2-1/千葉中央コミュニティセンター内  
TEL 0472(47)6611

関東支店／〒370 高崎市歌川町8番地/高崎センター内  
TEL 0273(27)3366

大阪支店／〒564 吹田市新戸屋下1-16  
TEL 06(877)5151

心斎橋店／〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39  
TEL 06(211)8331

神戸支店／〒651 神戸市中央区浜辺通6丁目1-36  
TEL 078(232)1111

四国支店／〒760 高松市西宝町2丁目6-44  
TEL 0878(33)2233

名古屋支店／〒460 名古屋市中区錦1-18-28  
TEL 052(201)5141

北陸支店／〒921 金沢市泉本町7-7  
TEL 0762(43)6111

九州支店／〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL 092(472)2151

福岡店／〒810 福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内  
TEL 092(721)7621

魚町店／〒802 北九州市小倉北区魚町1-1-1  
TEL 093(531)4331

北海道支店／〒064 札幌市中央区南十条西1-4/ヤマハセンター内  
TEL 011(512)6111

仙台支店／〒983 仙台市原町南日薬師堂北2-1  
TEL 0222(95)6111

広島支店／〒730 広島市中区基町13-13 平和生命広島ビル8F  
TEL 0822(21)4122

浜松支店／〒430 浜松市田町32  
TEL 0534(54)4115

PORTATONE®は日本楽器製造㈱の登録商標です。

